

式 辞

やわらかな春の日差しが降り注ぐ中、在校生の姿はありませんが、今日ここに、第六十九回卒業証書授与式が、挙行できますこと、大変有り難く思っております。

さて、改めまして、八十七名の卒業生の皆さん、卒業、おめでとうございます。

只今、皆さんに令和最初の清水中学校の卒業証書をお渡ししました。この卒業証書には今までの中学校生活における皆さんの頑張りや先生たちの思いが詰まっています。大切にしてください。

私は、皆さんとは、たった二年間という短いおつきあいでしたが、一緒に行った修学旅行などたくさん楽しい思い出ができました。特に学校祭では、猛暑のために体育祭が二日間に分けての開催となりました。急な変更となりましたが、皆さんのリーダーシップのもと、大きな混乱もなく大変素晴らしい体育祭になりました。また、日々の生活においても皆さんは礼儀正しく思いやりのあふれる言動を示してくれました。これらは学校を訪れた方はもとより学校外の方からもお褒めの言葉をいただきました。皆さんが示してくれた姿は後輩たちの心に清水中学校の伝統として焼き付けられ、受け継がれていくことと思っています。

さて、時代は令和となりました。今年は夏に東京でオリンピックが開催される予定で、三年後には北陸新幹線が開通します。大きな流れがこの福井にもやってくるでしょう。多様な人たちが押し寄せ、多様な価値観の中で生きていく時代になると思います。さらに、世界情勢は日々変化し、異常気象や少子高齢化。さらにはAIの発達や5Gなど今までの常識が通じないことが起こっています。そのような予測困難な時代を生きていくためには、多様な価値観を受け入れながらも自分の意見をしっかりと持ちそれを提示することが求められます。君たちが学校で学習したことの多くには正解がありました。しかし、社会に出てから、あるいはこれからの未来は正解のない多くの課題に向き合わなければなりません。しかし心配はいりま

せん。学校では課題の解決の方法を学んできたはずです。情報を集め、取捨選択し、自分の頭でしっかりと考え、多くの人たちと協働しながら練り上げていくことです。

皆さんも若いうちから世の中に目を向け、課題意識を持ち、多くの書物を読み、多くの人たちと語り合ってほしいと思います。

大きな間違いを起こさないためには、小さな間違いを経験し、それを生かすことを繰り返すことだ。と聞いたことがあります。若い君たちが、熱い思いを持ち、何事にも恐れず挑戦することが、予測不可能な時代を切り拓く切り札になると思います。是非皆さんは今まで培ってきたことを土台にして失敗を恐れずに夢に向かってチャレンジし続けて下さい。

人生にはいろいろなことが起こります。もしかすると夢をあきらめなければならぬことが起きるかも知れません。しかし大切なことはその時の状況を受け入れ、そこでできることを精一杯することです。そこから道は開かれます。入試の前の激励会で相撲取りの矢鵬関がでてくるコマーシャルを紹介しました。同じ文章でも上から読むのと下から読むのでは違ってくるというものです。世の中の出来事も全く同じです。その人のとらえ方でピンチはチャンスにもなります。その歩んできた道があなたの人生です。限りある人生悔いの無いように歩んでください。

さて、遅くなりましたが、卒業生の保護者の皆さま、本日は、誠におめでとうございます。

立派に成長されたお子様を前にして、中学校3年間の様々な思い出がよみがえっていることと思います。これからそれぞれの道を歩んでいくこととなりますが、よき伴走者としてあるいは人生の先輩としてお子様を支援していくて下さい。

これまで、本校にお寄せいただいた数々のご支援、心より厚くお礼申し上げます。

最後に、今までいろいろ述べてきましたが良き人生を歩む上でやはり大切なのは「命」です。健康に十分注意して自分のもとより他人の命も大切にそして人生を楽しんで下さい。

その限りない可能性を大きく開花させることを願って、式辞といたします。